

手新報

明治二十九年二月廿八日 金曜日
 舊曆丙申正月十五日 (辛亥)
 出版部 電話五十五分
 印刷部 電話五十五分
 電話部 電話五十五分
 (西曆一千九百九十六年)
 三月七日

廣告料の改正

時事新報現今の廣告料は去る明治廿二年中に定め其後廿四年に至る迄の改正を加へたるのみにて今日まで未だ動かす所なし是れ廣告依頼者の便を圖りて成る可く書價を更めざるなり左に各報の廣告料の改正せる今日に至りては此處にて忍ぶ可からず由て来る三月一日掲載の分より左の如く改正す

一回限掲載の分	一行に付	十七銭
二回以上六回以下掲載の分	同	十六銭
七回以上掲載の分	同	十五銭

三月一日の時事新報

来る三月一日より新要請の運轉を始むるが故に當日の新聞は臨時に東京部を増刷して全国各地に配布し聊か始運轉の用意を表す當日の紙上に廣告を掲げんとせらるゝ方は成る可く速かに申込みありたし

福翁百話

福翁先生が去る年来心を籠めたる福翁百話は一字一句も先生の手に成りて他人の筆を交へず我輩に於ても未だ見る所のものなれども其由來は先生自筆の序言に「予が我輩は江湖の浪者と共に其發見を待つ者なり」

東京 橋區南橋町
 時事新報社謹白

福翁百話序言

開國四十年來我文明は大に進歩したれども文明の本質は單に有形の物に止まらず國民全體の智徳も亦みれば伴て無形の間に進歩し變化して以て始めて立國の根本を固にするを得べし余は元來客を悦んで交る所、頗る廣し語次々此邊の問題に論及したるものと幾十回なるを知らざれば客散すれば一時の雜語を以て留めざるの常なりしかども左りとて残念なりと必付去る年来を憐んで筆を執り自ら人に語りし其語を記すのまゝ夫れ是れと取集めて文に綴り其文辭を廣んで凡そ百題を得たり依て之を福翁百話と名け時事新報に掲載するもに決し本年三月一日より續々之を紙上に公にす可し但し原稿の校正にも多少の時を費すもなれば先づ一週間に二三回づつづの積りなり讀者若し此書を讀んで余の意の在る所を知り無形の智徳以て居家處世の道に於て一身一家の獨立能く一國の基礎たるを得るに至らば望外の幸甚のみ明治二十九年二月十五日福翁謹言

時事新報

酒と酒精
 酒は國家重要な財源なれば大に其税を高くして共に又大に其業を保護す可しと我輩の所論にして衆議院に於ても亦深く此事に注意する所あり從來酒稅の源として其取締に若しかたる酒精の營業法を一層嚴重にして酒稅を補助せんとすの法を講じたる由なるが我輩

時事新報には毎週詳細なる尙况物價の報告あり

用を省して政府の収入は減少すれども國民の熱心地に變りなきは實際に明白の事實なれば果して收稅の目的を達せんとするに以て之を取替るに最善の手段と要するは勿論、課稅の標準検査の方法も從て改めざる可からず然るに今日政府の爲す所を見れば第一酒精と糖酎との區別は其含著する酒精分を量りて之を定むるに非ず無色無臭なれば之を酒精とし些かに色臭を帯れば糖酎と認むるが故に實際は酒精にして却て糖酎より高きものあれば税法に於ては之を問はず検査官が之を區別するに唯目と鼻とを以てするのみは實に迂遠の沙汰ならずや酒精中の最も苛烈なる糖酎と酒精との區別さへ既に斯くの如くなれば其他の酒精検査の方法とても業より學理に基きたる規則あるに非ず西洋各國にて酒を計るに温度の基礎を華氏の六十度と定め又アルコールメートルを用ひて酒中に含著する酒精の量を計るものに比すれば無造作も亦甚しと云ふ可し但し從來は酒の稅を定むるに於ては糖酎と酒精とを別々に原料を求めざりしが故に斯る無造作にても濟みたるに對し他方には低價なる原料に依り糖酎なる手段を以て糖酎の酒類を造るの道漸く發達せんとするに至りては課稅の標準も又其検査の方法も之を一變するも目下の急務なりと云ふ可し現に今日糖酎と酒精とを別々に原料以外の原料より造りたるものあり酒精中の糖酎の他は糖酎に混じたるものあり含著する酒精分頗る苛烈にして水を交へざれば飲み難きものあり既に臨州邊にては甘酒より造りたる酒ありて本年の議會にも一問題と爲り又臺灣には砂糖より酒を造るの方法専ら行れ北海道には淋酒又は馬鈴薯より之を得るの工夫もありと云ふ斯くの如き次第にて此儘に捨置くとせば酒精の高まるに隨ひ各種免稅酒の製造は各地に行はれて課稅の源を枯涸せしむるのみならず斯る程度の酒を飲むもの増加するも人民の健康に害及せざるも少なからざる故に政府は斯る免稅法を一新し酒精以下を含有する飲料糖酎には一定の検査法を實行して糖酎、糖酎等如何なる方法を以て造るに論ずる含有酒精の量、糖酎に依り課稅の標準を立て、米穀以外の製造物と雖も一切免稅と許さざるの法を定むるも肝要なり若し然らざるに於ては年を追ふに従ひ免稅酒の製造額に行はれて當局者も煩し酒精製造家の苦情は絶ゆるの期なくして收稅の目的も容易に達せざるに至る可し或は斯くの如くするときは内地にて製するビール又は葡萄酒の如き輸入酒と競争の地位に立つものは如何す可きやとの説もあらんかなれども是れは當局者に於て調査の上實際に斯る事情のものには特別に免稅して可なり唯漫に名目を輸入酒に假りて其實一類の免稅酒を造るものゝ如きは是れ免稅の基なれば遠慮なく免稅して然る可きものなり

小學校維持基金

小學校維持基金 學事年報に據れば全國の學齡兒童は其數八百餘萬人にして此兒童教育の爲めに要する經費は一箇年一千萬圓は皆市町村の負擔する所なれども其維持基金即ち寄附金其他の資金と目す可きものは五百萬圓に過ぎずして漸く將來の事を慮れば甚だ心痛す可きものありとて文部省にては斯る工夫を凝らしたる米全國の官有地にして地下を差支ふるもの

雪害

雪害 去る二十七日、二十八年の大雪は、山陽、山陰、北陸、關東、近畿、四國、九州、各地方に及んで、農作物、家畜、人、に甚大な被害を及ぼした。特に、山陽地方の雪害は、最も深刻で、多くの犠牲者を出した。政府は、雪害対策として、各地に救急隊を派遣し、被災者に食料や衣類を配布している。また、雪害による交通障害を解消するため、道路の除雪作業も進められている。

福翁百話

福翁百話の続編として、作者は「客散すれば一時の雜語を以て留めざるの常なり」と述べ、自身の経験と観察を基にした様々なエピソードを綴っている。その中には、社会の暗黒面や人情の冷暖が色濃く描かれており、読者に深い教訓と感動を与える。また、作者の独特な筆致と、鋭い社会批評もまた、この作品の魅力の一つである。

時事新報

時事新報の最新記事として、現在の社会情勢や政治動向について詳しく分析している。また、読者の声や、各地からの投稿も掲載されている。本報は、社会正義の伸張と、国民の啓蒙を使命とし、常に最新の情報を提供し続けている。

福翁百話

福翁百話の続編として、作者は「客散すれば一時の雜語を以て留めざるの常なり」と述べ、自身の経験と観察を基にした様々なエピソードを綴っている。その中には、社会の暗黒面や人情の冷暖が色濃く描かれており、読者に深い教訓と感動を与える。また、作者の独特な筆致と、鋭い社会批評もまた、この作品の魅力の一つである。

時事新報

時事新報の最新記事として、現在の社会情勢や政治動向について詳しく分析している。また、読者の声や、各地からの投稿も掲載されている。本報は、社会正義の伸張と、国民の啓蒙を使命とし、常に最新の情報を提供し続けている。

福翁百話

福翁百話の続編として、作者は「客散すれば一時の雜語を以て留めざるの常なり」と述べ、自身の経験と観察を基にした様々なエピソードを綴っている。その中には、社会の暗黒面や人情の冷暖が色濃く描かれており、読者に深い教訓と感動を与える。また、作者の独特な筆致と、鋭い社会批評もまた、この作品の魅力の一つである。

時事新報

時事新報の最新記事として、現在の社会情勢や政治動向について詳しく分析している。また、読者の声や、各地からの投稿も掲載されている。本報は、社会正義の伸張と、国民の啓蒙を使命とし、常に最新の情報を提供し続けている。

福翁百話

福翁百話の続編として、作者は「客散すれば一時の雜語を以て留めざるの常なり」と述べ、自身の経験と観察を基にした様々なエピソードを綴っている。その中には、社会の暗黒面や人情の冷暖が色濃く描かれており、読者に深い教訓と感動を与える。また、作者の独特な筆致と、鋭い社会批評もまた、この作品の魅力の一つである。

時事新報

時事新報の最新記事として、現在の社会情勢や政治動向について詳しく分析している。また、読者の声や、各地からの投稿も掲載されている。本報は、社会正義の伸張と、国民の啓蒙を使命とし、常に最新の情報を提供し続けている。

福翁百話

福翁百話の続編として、作者は「客散すれば一時の雜語を以て留めざるの常なり」と述べ、自身の経験と観察を基にした様々なエピソードを綴っている。その中には、社会の暗黒面や人情の冷暖が色濃く描かれており、読者に深い教訓と感動を与える。また、作者の独特な筆致と、鋭い社会批評もまた、この作品の魅力の一つである。

時事新報

時事新報の最新記事として、現在の社会情勢や政治動向について詳しく分析している。また、読者の声や、各地からの投稿も掲載されている。本報は、社会正義の伸張と、国民の啓蒙を使命とし、常に最新の情報を提供し続けている。

福翁百話

福翁百話の続編として、作者は「客散すれば一時の雜語を以て留めざるの常なり」と述べ、自身の経験と観察を基にした様々なエピソードを綴っている。その中には、社会の暗黒面や人情の冷暖が色濃く描かれており、読者に深い教訓と感動を与える。また、作者の独特な筆致と、鋭い社会批評もまた、この作品の魅力の一つである。

時事新報

時事新報の最新記事として、現在の社会情勢や政治動向について詳しく分析している。また、読者の声や、各地からの投稿も掲載されている。本報は、社会正義の伸張と、国民の啓蒙を使命とし、常に最新の情報を提供し続けている。

福翁百話

福翁百話の続編として、作者は「客散すれば一時の雜語を以て留めざるの常なり」と述べ、自身の経験と観察を基にした様々なエピソードを綴っている。その中には、社会の暗黒面や人情の冷暖が色濃く描かれており、読者に深い教訓と感動を与える。また、作者の独特な筆致と、鋭い社会批評もまた、この作品の魅力の一つである。

時事新報

時事新報の最新記事として、現在の社会情勢や政治動向について詳しく分析している。また、読者の声や、各地からの投稿も掲載されている。本報は、社会正義の伸張と、国民の啓蒙を使命とし、常に最新の情報を提供し続けている。

福翁百話

福翁百話の続編として、作者は「客散すれば一時の雜語を以て留めざるの常なり」と述べ、自身の経験と観察を基にした様々なエピソードを綴っている。その中には、社会の暗黒面や人情の冷暖が色濃く描かれており、読者に深い教訓と感動を与える。また、作者の独特な筆致と、鋭い社会批評もまた、この作品の魅力の一つである。

時事新報

時事新報の最新記事として、現在の社会情勢や政治動向について詳しく分析している。また、読者の声や、各地からの投稿も掲載されている。本報は、社会正義の伸張と、国民の啓蒙を使命とし、常に最新の情報を提供し続けている。

福翁百話

福翁百話の続編として、作者は「客散すれば一時の雜語を以て留めざるの常なり」と述べ、自身の経験と観察を基にした様々なエピソードを綴っている。その中には、社会の暗黒面や人情の冷暖が色濃く描かれており、読者に深い教訓と感動を与える。また、作者の独特な筆致と、鋭い社会批評もまた、この作品の魅力の一つである。

時事新報

時事新報の最新記事として、現在の社会情勢や政治動向について詳しく分析している。また、読者の声や、各地からの投稿も掲載されている。本報は、社会正義の伸張と、国民の啓蒙を使命とし、常に最新の情報を提供し続けている。

福翁百話

福翁百話の続編として、作者は「客散すれば一時の雜語を以て留めざるの常なり」と述べ、自身の経験と観察を基にした様々なエピソードを綴っている。その中には、社会の暗黒面や人情の冷暖が色濃く描かれており、読者に深い教訓と感動を与える。また、作者の独特な筆致と、鋭い社会批評もまた、この作品の魅力の一つである。

時事新報

時事新報の最新記事として、現在の社会情勢や政治動向について詳しく分析している。また、読者の声や、各地からの投稿も掲載されている。本報は、社会正義の伸張と、国民の啓蒙を使命とし、常に最新の情報を提供し続けている。

福翁百話

福翁百話の続編として、作者は「客散すれば一時の雜語を以て留めざるの常なり」と述べ、自身の経験と観察を基にした様々なエピソードを綴っている。その中には、社会の暗黒面や人情の冷暖が色濃く描かれており、読者に深い教訓と感動を与える。また、作者の独特な筆致と、鋭い社会批評もまた、この作品の魅力の一つである。

時事新報

時事新報の最新記事として、現在の社会情勢や政治動向について詳しく分析している。また、読者の声や、各地からの投稿も掲載されている。本報は、社会正義の伸張と、国民の啓蒙を使命とし、常に最新の情報を提供し続けている。

福翁百話

福翁百話の続編として、作者は「客散すれば一時の雜語を以て留めざるの常なり」と述べ、自身の経験と観察を基にした様々なエピソードを綴っている。その中には、社会の暗黒面や人情の冷暖が色濃く描かれており、読者に深い教訓と感動を与える。また、作者の独特な筆致と、鋭い社会批評もまた、この作品の魅力の一つである。

時事新報

時事新報の最新記事として、現在の社会情勢や政治動向について詳しく分析している。また、読者の声や、各地からの投稿も掲載されている。本報は、社会正義の伸張と、国民の啓蒙を使命とし、常に最新の情報を提供し続けている。

福翁百話

福翁百話の続編として、作者は「客散すれば一時の雜語を以て留めざるの常なり」と述べ、自身の経験と観察を基にした様々なエピソードを綴っている。その中には、社会の暗黒面や人情の冷暖が色濃く描かれており、読者に深い教訓と感動を与える。また、作者の独特な筆致と、鋭い社会批評もまた、この作品の魅力の一つである。